2025 年度春学期「キャンパス・アジア科目 A」シラバス

●**開設時間：**火曜 4 限(14:40～16:20) 対面

●**担当教員：**澤田康徳・椿真智子(キャンパス・アジア推進室教員)
呉春蘭(キャンパス・アジアプログラム専門研究員)

●**単　　位：**2 単位

●**受 講 生：**キャンパス・アジアプログラム参加者（原則、N2 相当以上の日本語能力を有する者）

●**当科目のねらい**：教育や学校・子どもをとりまく現代的課題をふまえ、グローバルな視野と知識・技能を備えた教員ならびに教育支援人材の養成を趣旨とするキャンパス・アジアプログラムの提供科目。キャンパス・アジアの理念にもとづき、日本およびアジアの教育や社会・文化等に関する意見交換・議論と各自の研究・調査を実践することで、比較的視点にもとづく知識と研究方法の習得ならびに相互理解を深める。

●**授業内容：**　※授業は日本語を使用

・キャンパス・アジアプログラムのねらい・特徴や従来の取り組み、DDP、学芸大およびキャンパスの紹介
・本学図書館の学術・研究上の利用方法等について
・教育・学校・子どもに関するディスカッション
・日本あるいはアジア各国・地域に関わる各自の研究テーマ設定および研究実践・発表（全員、日本語）と、研究レポートの作成（当学期修了予定者、日本語での執筆）※学期末に「研究発表会」開催（当学期修了予定者は研究発表, 全員参加）
・日本文化に関する特別活動　※授業とは別の時間帯に実施する可能性あり

●**テキスト・参考文献：**授業時に適宜示す。

●**成績評価の方法：**授業における発表・コメント等の参加状況と最終発表会および研究レポート等を総合的に評価する。

●**授業スケジュール:**　※受講人数ほかにより変更の可能性あり

1. キャンパス・アジアプログラム開講式ならびに授業ガイダンス
2. 東京学芸大学およびキャンパス等の紹介
3. 本学図書館の学術・研究利用について（本学図書館）
4. 日本及び本学での研究・調査の進め方
5. アジアの教育・学校・子どもをとりまく課題に関する議論①
6. アジアの教育・学校・子どもをとりまく課題に関する議論②
7. 構想・中間発表①　受講生の研究発表と質疑応答
　　※今学期からの受講生は構想発表、前学期から継続の受講生は中間発表
8. 構想・中間発表②　受講生の研究発表と質疑応答
9. 構想・中間発表③　受講生の研究発表と質疑応答
10. 中間発表①　　同　上
11. 中間発表②　　同　上
12. 中間発表③　　同　上
13. 中間発表④　　同　上
14. 「最終発表会」　　※発表時間等の詳細については後日決定